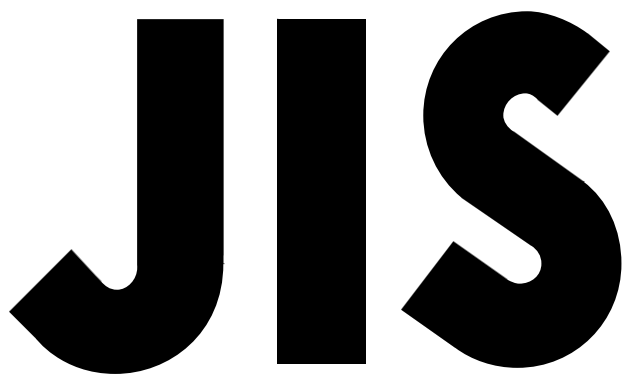




ゴム－赤外分光分析法による ゴムの種類の同定

JIS K 6230 : 2018

(JRMA/JSA)

平成 30 年 2 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 化学・環境技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	千 葉 光 一	関西学院大学
(委員)	今 井 勇	一般社団法人日本ゴム工業会
	大 石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	大 野 香 代	一般社団法人産業環境管理協会
	小 川 修	一般社団法人日本塗料工業会
	倉 品 秀 夫	公益社団法人自動車技術会
	小 森 亨 一	一般社団法人日本分析機器工業会
	斉 藤 良	日本プラスチック工業連盟
	四角目 和 広	一般財団法人化学物質評価研究機構
	高 津 章 子	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	中 島 眞 理	一般社団法人日本ゴム工業会
	中 村 優	地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
	野 中 玲 子	一般社団法人日本化学工業協会
	保 倉 明 子	東京電機大学
	松 永 直 樹	拓殖大学
	三 浦 安 史	石油連盟
	森 川 淳 子	東京工業大学
	山 崎 初 美	主婦連合会
	山 田 美佐子	一般財団法人日本消費者協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 10.3.20 改正：平成 30.2.20

官 報 公 示：平成 30.2.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本ゴム工業会

(〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-5-26 東部ビル TEL 03-3408-7101)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：化学・環境技術専門委員会 (委員長 千葉 光一)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 試験の概要	1
3.1 透過法による同定	1
3.2 ATR 法による同定	2
4 同定できるゴムの種類	2
4.1 ゴムが 1 種類の場合	2
4.2 ゴムが 2 種類以上ブレンドされた場合	4
5 ガス及び試薬	4
6 器具及び装置	4
7 透過法の測定手順	5
7.1 原料ゴム及び未加硫配合ゴム	5
7.2 加硫配合ゴム	5
8 ATR 法の測定手順	7
9 スペクトルの解析	7
10 試験報告書	7
附属書 A (参考) 透過法スペクトルと ATR 法スペクトルとの比較例	8
附属書 B (参考) 特性吸収帯表及び標準スペクトル例	9
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	77
解 説	80

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本ゴム工業会（JRMA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS K 6230:2006** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

ゴム—赤外分光分析法によるゴムの種類の同定

Rubber—Identification—Infrared spectrometric methods

序文

この規格は、2012年に第3版として発行された **ISO 4650** を基とし、測定法追加のため、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA** に示す。

1 適用範囲

この規格は、原料ゴム並びに未加硫配合ゴム及び加硫配合ゴムに配合されたゴムの種類の同定方法について、透過法及び ATR（Attenuated Total Reflection）法による赤外分光分析法を規定する。

なお、ゴムの種類には、熱可塑性エラストマーを含む。

この規格は、ゴムの混合比分析、ゴムの配合量分析などの定量分析を目的とするものではない。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 4650:2012, Rubber—Identification—Infrared spectrometric methods (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“修正している”ことを示す。

警告 この規格の利用者は、通常の実験室での作業に精通しているものとする。この規格は、その使用に関連して起こる全ての安全上の問題を取り扱おうとするものではない。この規格の利用者は、各自の責任において安全及び健康に対する適切な措置を取らなければならない。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS K 6229 ゴム—溶剤抽出物の求め方（定量）

注記 対応国際規格：**ISO 1407**, Rubber—Determination of solvent extract

JIS K 6418 熱可塑性エラストマー—用語及び略号

注記 対応国際規格：**ISO 18064**, Thermoplastic elastomers—Nomenclature and abbreviated terms

3 試験の概要

3.1 透過法による同定

試験試料から溶剤抽出によって添加剤などを除いた試験片を調製する。試験片について、原料ゴム及び未加硫配合ゴムは、溶液からのキャスト膜を調製し、加硫配合ゴムは、熱分解によって生成した熱